

2025.11.28
素敵なコインご案内



希少性(出現頻度)解説

★★★★★：1年に1回以下

★★★★：1年に2-3回

★★★：1年に5-10回

★★：1年に10-20回

★：1年に20-50回

☆：1年に51回以上

「ペリカン・ポートレート」

1572~1576年頃 ニコラス・ヒアード

エリザベス1世の後方左上にはコインの裏側にも刻印されている「チューダーローズ」、右上には「フール・ド・リス」。

女王が首にかけているペリカンのペンダントが名前の由来となっているが、このペリカンは3匹のヒナに対して自らの胸をつつかせ血を飲ませている。

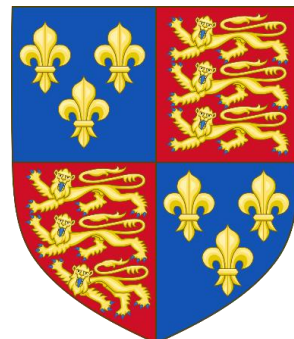
これは自らを犠牲にしたイエス・キリストをモチーフにしていると言われている。(イングランドに身を捧げる女王自身に投影されている) 尚ヒアードはエリザベス1世直属の金銀細工師にも任命されており、コイン製造の際に何らかの形で携わった事が推測される。

イングランド王国と結婚した女王の力強い横顔を描いた金貨

イギリス 1602年 エリザベス1世 1ポンド金貨 AU53

【発行枚数】 不明 【サイズ】 38.00mm/11.08 g

【希少性】 ★★★★★ 【ご案内価格】 8,800,000円 (税込)



エリザベス1世の紋章

表面：エリザベス1世の肖像（晩年を描いた第6肖像）

ELIZABETH D G ANG FRA ET HIB REGINA

（神の恩寵たるエリザベス、イングランド、フランスならびにアイルランドの女王）

裏面：エリザベス1世の紋章が刻印された盾と王冠（右下図参照）

SCVTVM FIDEI PROTEGET EAM(信仰の盾が女王を護らん)

エリザベス1世 (Elizabeth I)

在位：1558年11月17日 - 1603年3月24日

生没：1533年9月7日- 1603年3月24日（69歳没）

イングランド史上最も輝かしい女王の一人として知られるエリザベス1世。

彼女が即位した時代、国内は宗教対立と政治的不安に満ちていた。エリザベスは強い意志と緻密な外交手腕によって国を統一し、プロテスタントの立場を確立。内政では経済の安定化と文化振興を進め、外政ではスペインの無敵艦隊を撃破してイングランドを海洋国家へと押し上げた。

エリザベス朝と呼ばれたこの時代はシェイクスピア、マロー、ラリーなど数多くの才能が花開き、まさに英国文化の黄金時代を築いた時期である。女王自身は結婚を拒み、「ヴァージンクイーン（処女王）」として国家と運命を共にし、その清廉と誇りが国民の信仰の対象となった。

Buyer's comment

この1ポンド金貨は、エリザベス1世の治世末期、1602年に発行された歴史的な作品である。肖像は晩年の女王を写したもので、繊細な髪の毛の描写、豪華なレース襟、そして威厳を湛えた表情に、統治者としての成熟と精神的強さが表現されている。

この一節は女王の揺るぎない信仰と正統な支配を象徴する言葉である。NGC AU53の高グレードで残存する本品は、エリザベス治世の最終章を飾る威信ある金貨として極めて貴重。国家の繁栄、宗教的信念、そして女王個人の精神性が一体となった、16世紀英国の栄光を物語る歴史的遺産である。

鑑定枚数表

鑑定会社	タイプ	50	53	55	58	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	TOTAL
PCGS	MS																0
PCGS トータル枚数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NGC	MS		1		1												2
NGC トータル枚数		0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
鑑定会社2社の合計		0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2



エリザベス1世の戴冠式（1600年）

この肖像画と1602年の1ポンド金貨は、どちらもエリザベス1世の威厳と精神性を象徴する統治の象徴として密接に響き合う。

絵画では王冠と笏、宝珠を手に、神の代行者としての王権を明確に示し、純白のエルミンのマントと金糸の衣装が彼女の神聖性と統治の正統性を際立たせる。

一方、金貨に刻まれた晩年の横顔は、肖像画の荘厳さをそのまま金の輝きに凝縮したような印象を与える。銘文「SCVTVM FIDEI PROTEGET EAM（信仰の盾が女王を護らん）」は、絵画で表される神への忠誠と同じ精神を金属に刻みつけたものだ。

どちらも女王が「神の加護の下にある国家」の象徴であり、信仰と統治の理想が芸術と貨幣の両面から結晶した、エリザベス朝イングランドの頂点を示す記念碑的作品である。

SINCONA AG - Auction 79, Lot 1089

24 Oct 2022

32,000 CHF

SINCONA BRITISH COLLECTION – PART 3 GREAT BRITAIN. ELIZABETH I. 1558-1603. Gold Pound n. d. (1602), Tower Mint. Seventh issue. Mintmark "2". 11.08 g. Spink 2539. Schneider coll. 806. Fr. 219. Sehr selten / Very rare. NGC AU53. (〜€ 7'815/USD 7'815) Finest certified by NGC. Starting price: 7500 CHF...

[Save this lot](#)

≈ 31,984 USD
≈ 32,355 EUR



オークション落札実績（落札価格/日本円落札価格+手数料+輸入消費税）

2022.10 スイス@CHF32,000/8,060,000円（AU53、当該コイン）

1711年のアン女王2ギニーは、発行数が少なく市場での流通も極めて限られた稀少金貨。

大英帝国の統一を象徴する紋章デザインと、優雅な女王肖像の調和が美しく、18世紀英国金貨の完成された造形美を示す。

2ギニーは当時的高額取引用として発行され、現存する未使用級の個体は極めて少ない。

MS61というグレードは、金本来の輝きと立体的な打刻を今に伝える貴重な水準。

希少性・品格・保存状態の三拍子が揃った英国金貨の逸品。

UNIVERSAL COIN

戴冠式の光景を捉えた300年前の至宝。ハノーヴァー朝の始まりの金メダル

イギリス 1714年 ジョージ1世 戴冠記念 金メダル AU58

【発行枚数】 330枚（最大発行枚数131枚） 【サイズ】 40.00mm/24.02g 【希少性】 ★★★★★

【ご案内価格】 3,480,000円（税込）



表面：彫刻家ジョン・クローカーによる、月桂冠を戴き、甲冑とローブをまとった若きジョージ1世の右向きの胸像

GEORGIVS • D • G • MAG • BR • FR • ET • HIB • REX

（神の恩寵により、偉大なるブリテン、フランス、アイルランドの国王ジョージ）

裏面：王座に座ったジョージ1世に、イギリスの女神であるブリタニアが王冠を授けている情景。

これはハノーヴァー朝初代国王の即位が神と国民（ブリタニア）によって認められたことを象徴する。

INAVGVVRAT • XX • OCT • M • D • CCXIII

（1714年10月20日 戴冠）

ジョージ1世 (George I)

在位：1714年8月1日 - 1727年6月11日

生没：1660年5月28日 - 1727年6月11日

（67歳没）

イギリス王室史上、最も重要な転換点に即位した人物と言えるジョージ1世。

スチュアート朝断絶後の1714年、プロテスタントの血統という理由で、ドイツのハノーヴァー選帝侯からイギリス国王に招聘された。彼は英語を話さず、ドイツ領地の統治を優先したため、イギリスの政務は議会に委ねられた。この結果、議会政治と責任内閣制が発展し、首相制度が事実上始まるなど、後のイギリス立憲君主制の基礎が築かれた。

この1714年戴冠を記念する金メダルは、新王朝の幕開けという歴史的瞬間を捉えている。表面の威厳ある肖像と、裏面の守護神ブリタニアによる加冠の図柄は、ハノーヴァー朝の正統性と、新たな時代の始まりを象徴する、極めて希少な歴史的証拠品である。



オークション落札実績（落札価格/日本円落札価格+手数料）

2023.8 アメリカ@\$27,600/4,743,000円（MS62）

鑑定会社	タイプ	50	53	55	58	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	TOTAL
PCGS	MS																0
PCGS トータル枚数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NGC	MS				1			4	1								6
NGC トータル枚数		0	0	0	1	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	6
鑑定会社2社の合計		0	0	0	1	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	6

UNIVERSAL COIN

国民と妻を愛した最長在位を誇るイギリス王

イギリス 1768年 ジョージ3世 ケンブリッジ大学学長賞 金メダル 裸

【発行枚数】不明【サイズ】53.40m/91.75g【希少性】★★★★★

【ご案内価格】4,280,000円(税込)

入手元オークション：2011年3月 KUNKER (ドイツ) ⇒2025年 SINCONA



表面：月桂冠を被ったジョージ3世

GEORGIUS III PIVS FELIX PATER PATRIAE

敬虔で幸運なる祖国の父、ジョージ3世

裏面：学生に月桂冠を授けるギリシャ神話に登場する太陽神アポロン

AUSP. CELS. PRINC. GUL. FRED. DUC. DE GLOUCESTER ACAD. CANTAB. CANCELL.

(最も高貴なるグロスター公爵ウィリアム・フレデリック王子の後援のもとに、ケンブリッジ大学学長として)

ジョージ3世 (George III)

在位：1760年10月25日 - 1820年1月29日

生没：1738年6月4日 - 1820年1月29日 (81歳没)

60年の在位期間というのは歴代英国王の中では最も長く(最も長い女王はエリザベス2世)、現代においてもロイヤルミントから生誕200周年記念の金貨が発行されるなど愛されている人物である。

即位中はアメリカ独立戦争、フランス革命、ナポレオン戦争と争いが絶えない時代であった。その一方で産業革命が進み、世界の工場として英国が名を馳せた時代でもあった。

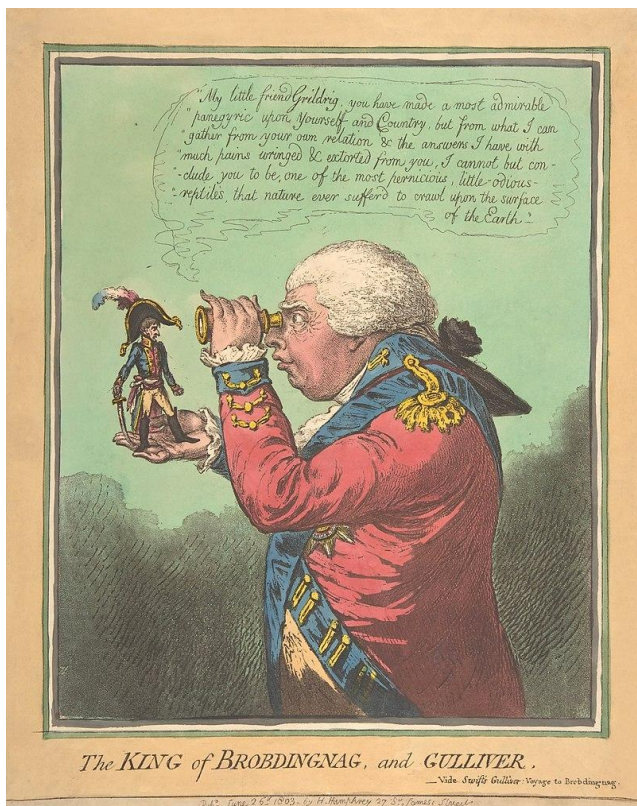
1801年に英国とアイルランドが合併し「グレートブリテン及びアイルランド連合王国」が設立。ユニオンジャックが使用されるようになったのもこの頃からである。

(現在の正式な国名は「グレートブリテン及び北アイルランド連合王国」)

イギリスの名門ケンブリッジ大学の優秀な学生に送られる金メダル。(メダル裏側に記載の「ウィリアム・フレデリック王子」とはジョージ3世の事)

受賞者のトム・スティールはアイルランド出身の技術者で、後年になって政治活動を開始しアイルランド解放運動に参加している。

同メダルの落札実績は確認されておらず、現存は1枚のみと推測される。



ナポレオン・ボナパルトを手に載せたジョージ3世(当時の新聞の風刺画)



ジョージ3世の晩年は白内障とリウマチ、精神疾患によって王の職務を遂行するのは困難となっていた。
そこで1811年に長男のジョージ4世が摂政（王の代行）を取った。
質素で国民の事を第一に考えていた父王とは正反対のジョージ4世は競馬と愛人に国家予算のほとんどを使い込み、自らの結婚式への参加を最後まで拒み泥酔状態で出席するなど破天荒な国王であった。（花嫁候補のキャロラインの体臭に耐えられなかった為）



ジョージ3世と妻シャーロット王妃の関係は、当時としては珍しいほど深い愛情と敬意に満ちたものであった。

2人は1761年に結婚し、初対面からわずか6時間後に挙式を行う。
15人の子どもに恵まれ、ジョージ3世は一度も愛人を持たず、家庭を大切にしていた事で知られている。

1790年代にはジョージ3世の発作が激しくなり、シャーロットは夫の世話をしながら孤独と苦悩に耐える日々を送っていた。
愛し合っていた二人の間にも距離が生まれ、晩年のジョージ3世は視力と聴力を失い、完全に引退状態に。シャーロットも健康を害し、1818年に夫に先立って亡くなる。

2人の誠実な結びつきは今も「忠実な結婚の象徴」として語られている。

オークション落札実績

なし

表鑑定枚数表

鑑定会社	タイプ	50	53	55	58	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	TOTAL
PCGS	SP																0
PCGS トータル枚数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NGC	PF																0
NGC トータル枚数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鑑定会社2社の合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

産業革命と領土争いで大英帝国を前進させた王

イギリス 1806年 ジョージ3世 1/4ペニー パターン金貨 PF63CAM

【発行枚数】不明 (R7=1-2枚) 【サイズ】20.19mm/8.84g

【希少性】★★★★

【ご案内価格】8,500,000円 (税込)



表面：ジョージ3世の肖像。月桂冠を戴き、古代ローマのカエサル像を思わせる古典的な造形。

GEORGIUS III D:G: REX (神の恩寵による国王ジョージ3世)

この肖像は国王が長期治世の中で成熟した統治者として描かれ、ナポレオン戦争下の英国の安定を象徴している。

裏面：右手に平和の象徴であるオリーブの木、左手に海神ポセイドンから授かった槍（トライデント）を持ったイギリスを擬人化した女神ブリタニア

ブリタニアの傍らにユニオンジャックが刻印された盾 BRITANNIA (ブリタニア)

ジョージ3世 (George III)

在位：1760年10月25日 - 1820年1月29日

生没：1738年6月4日 - 1820年1月29日 (81歳没)

60年の在位期間というのは歴代英国王の中では最も長く（最も長い女王はエリザベス2世）、愛されている人物である。

即位中はアメリカ独立戦争、フランス革命、ナポレオン戦争と争いが絶えない時代であった。その一方で産業革命が進み、世界の工場として英国が名を馳せた時代でもあった。

1801年に英国とアイルランドが合併し「グレートブリテン及びアイルランド連合王国」が設立。ユニオンジャックが使用されるようになったのもこの頃からである。

(現在の正式な国名は「グレートブリテン及び北アイルランド連合王国」)

Buyer's comment

ナポレオン戦争の最中、イギリスが海洋帝国としての力を世界に誇示していた1806年に鑄造されたジョージ3世の1/4ペニー試鑄金貨。

月桂冠を戴く王の肖像は古代ローマのカエサルを思わせ、強靱な統治と勝利への祈りを象徴する。

一方、裏面のブリタニア像は、三叉槍とオリーブの枝を携え、戦いと平和の均衡を示す英国精神の化身である。

深い鏡面と浮かび上がる彫刻が見事なCAMEO仕上げで、NGC PF63CAMという評価に相応しい威厳と美観を兼ね備える。

実用ではなく威信を示すためにごく少数が試鑄された（発行枚数は1～2枚とされる）歴史的作品であり、18～19世紀イギリスの芸術性と国家理念を凝縮した至高のブルーフ金貨である。



(左) ジョージ3世の肖像画 (1800年頃)

(右) 第一次世界大戦でトリプル・エンテンテ (三国協定) を結んだフランス、イギリス、ロシアの女神 (左からマリアヌヌ、ブリタニア、母なるロシア (1907年))

SINCONA AG - Auction 79, Lot 1341

24 Oct 2022

32,000 CHF

SINCONA BRITISH COLLECTION – PART 3 GREAT BRITAIN. GEORGE III. 1760-1820. Proof Farthing 1806, London. Struck in gold. Small laureate and draped bust. 8.84 g. Spink 3782. WR 175. Äusserst selten / Extremely rare. Prachtvolle Erhaltung / Magnificent condition. NGC PF63 CAMEO. (€7'815/USD 7'815) From the stock of Spink, London, January 2004. From the J.J. Pitman Collection. Finest certified by NGC. Starting price: 7500 CHF...

≈ 31,984 USD

≈ 32,355 EUR



[Save this lot](#)

オークション落札実績 (落札価格/日本円落札価格+手数料+輸入消費税)

2022/10 スイス@CHF32,000/8,060,000円 (PF63CAM)

鑑定枚数表

鑑定会社	タイプ	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	TOTAL
PCGS	PRCAM												0
PCGS トータル枚数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NGC	PFCAM				1								1
NGC トータル枚数		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
鑑定会社2社の合計		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

UNIVERSAL COIN

平和条約をモチーフにした貴族の結婚記念金メダル

フランス 1845年 ローラン・ルイ・セプティム伯爵/イザベル・ド＝ガール＝ド＝クルセル
結婚記念 金メダル MS61
【発行枚数】 不明【サイズ】 42.00mm/61.33g【希少性】 ★★★★★
【ご案内価格】 5,500,000円（税込）



当該金メダルに関して

当該金メダルはルイ15世の名の下に1748年10月に締結された「アーヘンの和約（オーストリア継承戦争を終結させる為の講和条約）」締結記念金メダルのデザインをそのまま使用した、ローラン・ルイ・セプティム伯爵とイザベル・ド＝ガール＝ド＝クルセルという貴族の結婚金メダルである。

スラブに記載のPEACE OF AIX-LA-CHAPELLEとはフランス語で「アーヘンの和約」を意味する。

ルイ15世 (Louis XV)

在位：1715年9月1日 - 1774年5月10日
生没：1710年2月15日 - 1774年5月10日（64歳没）

祖父ルイ14世の死を受けて5歳で即位し、
「愛されし王（le Bien-Aimé）」と称されたフランス国王。



59年という長い治世は絶対王政の最盛期から衰退への転換点にあたり、王権の栄光と陰りを同時に内包していた。

若年期には宰相フルーリー枢機卿の下で内政が安定し芸術と科学が栄えたが、やがてヨーロッパの列強との覇権争いが再燃した。

1740年に勃発したオーストリア継承戦争ではフランスはプロイセン側として参戦し、戦費の膨張に国庫が疲弊。

最終的に1748年にアーヘンの和約が締結され戦争は終結した。

この条約により、フランスは領土的利益を得なかったものの、ヨーロッパに一時の平和をもたらした。

この和約を記念して発行された金メダルには、「SALUS GENERIS HUMANI（人類の救済）」の文字と平和の女神パックスが刻まれ、王が戦を終わらせた「平和の守護者」であることを示している。

ルイ15世の治世は贅沢と政治腐敗が進行し、のちの革命への伏線ともなったが、外交と芸術の面では18世紀フランスの洗練を象徴する時代であった。



表面：ルイ15世の肖像

LUD・XV・REX CHRISTIANISS. (神の庇護により洗礼されしルイ15世)

裏面：中央には光を背に受けた平和の女神パックスが玉座に鎮座し、周囲には戦の象徴である武具や旗が静かに置かれている。

SALUS GENERIS HUMANI (人類の救い)

PAX AQUI GRANENSIS XVII OCTOBRE MDCCXLVIII

(1748年10月18日に締結されたアーヘンの和約)



平和の女神パックス (PAX)

静の女神であるパックス。

力によって平和をもたらすのではなく、理解と慈愛によって国を鎮める存在として表現される。

ギリシャ神話のエイレーネと同一視され、オリーブの枝、笏、コルヌコピア（豊穡の象徴）などを携える姿で表現される。

帝政ローマでは「Pax Romana（ローマの平和）」という言葉が広まり、戦乱を鎮める皇帝の徳を象徴する存在となった。

この概念は後世のヨーロッパ君主制にも受け継がれ、王権の正当性と慈愛を表す理想像としてたびたびメダルや絵画に登場した。

ルイ15世の胸像が「威厳」を表すなら、パックスは「優しさ」を象徴する。その対比によって、王権の理想が戦の勝者ではなく、平和を授ける者として表現されている。

オークション落札実績 (落札価格/日本円落札価格+手数料)

なし

鑑定枚数表

鑑定会社	タイプ	40	45	50	53	55	58	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	TOTAL
PCGS	MS																		0
PCGS トータル枚数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NGC	MS								1										1
NGC トータル枚数		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
鑑定会社2社の合計		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

UNIVERSAL·COIN



UNIVERSAL·COIN